

2017

パドラーズ震災支援ピックス-5



7月28日~30日・ 8月16日~17日 秋田県大雨災害のニーズ調査及び事後調査

平成29年秋田県大雨災害
秋田市ボランティアセンターの活動報告

7月22日からの記録的な大雨により、秋田市でも大住地区、雄和地区を中心に床上・床下浸水あわせて500棟以上の被害が発生しました。秋田市ボランティアセンターでは、たくさんのボランティアや関係機関・団体等からご協力をいただき、一日も早い復興・復旧に向け被災世帯への支援活動を行いました。

【ボランティア依頼件数 85件】
ボランティアの協力も得て、被災地域にチラシを配りながら困りごとを聞き取りました。
その結果、室内の片付けや家具の運び出しなど多くの依頼が寄せられました。

【ボランティア派遣人数(延) 334名】

【活動内容の内訳】

募り	その他 3%	ニーズ調査 8%
----	--------	----------

秋田パドラーズによるニーズ調査(平成29年7月29日)

平成29年秋田県大雨災害では記録的な雨量となり秋田市でも大住地区、雄和、河辺地区を中心に床上・床下浸水、のり面崩落の被害が発生しました。
秋田市ボランティアセンター（秋田市社会福祉協議会内）から活動要請を受け、武田、羽生、石山、中村会員の協力で被災地区のニーズ、事後調査の活動をしました。
* 秋田市・社協だよりNo64に武田会員の調査写真が掲載。

9月5日（火）吉野復興大臣に活動報告



復興大臣が支援活動拠点の遊学舎を訪れました。パドラーズにも活動を話す時間を頂き、理事長がパドラーズ紹介、被災地、秋田県内での支援活動を話しました。活動内容、活動上の問題点などいつものようにクールに語ってきました。以前避難された方々と、秋田杉で作成した「希望の架け橋号」が福島でカヌーイングの機会ができずにいることを話しました。